

## 式辞 令和6年度第1学期始業式

北条高校2年次、3年次の生徒の皆さん。初めまして。校長の菊池です。どうぞよろしくお願ひします。

北条高校に転勤が決まって春休み中に何度かこの学校を訪れました。そうすると部活動をしていた生徒さんでしょうか。私を見るや否や、大きな声で「こんにちは」と声をかけてくれました。新しい学校への転勤で不安な思いもありましたが、この挨拶のお陰で、その不安は吹き飛びました。ありがとうございました。

今日の午後には新入生が入学してきます。先輩として是非気持ちの良い挨拶をして、新入生を迎え入れてください。

さて、年度の始めにあたり、2つ頑張ってもらいたいことを伝えます。

1つ目は、「失敗を恐れずに何でもチャレンジしてほしい。」ということです。難しいことをチャレンジしようと思わず、できそうなことから、興味のあることからでかまいません。成功しても失敗してもかまいません。失敗から学ぶことは多くあります。大切なことは、目標を掲げ、努力を続けることです。私が以前勤めていた学校に、中学生の時に学校の授業にはほとんど出られなかった女子生徒がいました。その生徒は高校に入学してから皆勤を通し、無事卒業しました。卒業時に本人が作文に書いた文面が印象的でした。そこには「私は、この学校に入学して、たくさんの失敗をしてきました。やっと失敗にも慣れたところです。」と書かれてありました。何て素敵な言葉だろうと思いました。失敗なんて何てことありません。人生は挑戦の繰り返しであり、その中で失敗から学び、成功へと繋がります。一生懸命挑戦

していると、必ず応援し支えてくれる人が現れます。

2つ目は「人を思いやる心」を持ってほしい。ということです。これから生きていく上で、人との関わり方は大切です。多くの方は「自分のことを分かってほしい」と思いがちですが、相手の話をしっかり聴き、共感しながら理解することで、自然と自分のことも理解してもらいやすくなります。自分がまず相手を理解しようとするすることで、自分も理解されることを知っておいてください。誰からも慕われる魅力的な人間になって、幸せな人生を歩んでほしいと思っています。

令和8年度春には、北条清新高等学校という昼間定時制と通信制、遠隔授業ができる機能を兼ね備えた愛媛県で初の新しい学校が誕生します。この1年は北条高等学校から北条清新高等学校へと新しい歴史をつなぐ担い手として、重要な節目に巡り合った年次です。そのような巡りあわせの中、新たなスタートを切る皆さんは、北条高校での生活を通じて、多くのことを学んでくれると期待しています。これから皆さんが生き生きと活躍することを期待し式辞といたします。

令和7年4月8日

愛媛県立北条高等学校長 菊池 正敏